



15 観音寺 荒尾町仏供田

伊勢湾に面する丘陵の上であり、古くから風光明媚な名勝地として有名でした。参道を登っていくと幹回りが10mほどもある大きなクスノキ(市指定天然記念物)がそびえています。江戸時代に郷土の偉人細井平洲が学んだ寺小屋で、平洲が登って遊んだといわれる松の木もありましたが、空襲で燃えてしまい、現在は三代目の松が植えられています。堂に安置された聖観音立像(市指定彫刻)は、鎌倉時代の作で東海市における仏像では古く位置づけられます。

毎年8月10日の夜半に提灯祭りが行われ、30個ほどの提灯をともした竹が、50本ほど献灯され、お参りの後、無病息災を願って提灯が奪い合いで行われます。

16 八柱神社 荒尾町御幣土

この神社は、昔は荒尾七ヶ村の氏神様で、盛んなお祭りが営まれました。境内に、平島村出身の細井平洲が尾張藩に迎えられたときに寄進した灯籠(市指定歴史資料)があります。



運得寺の宝篋印塔

17 運得寺 荒尾町西屋敷

古くは七堂伽藍、十二坊が立ち並んだお寺でしたが、16世紀に火災にあって建物のほとんどが焼けてしまったといわれています。その後、室町時代の木田城主であった荒尾小太郎が菩提所として再建しましたが、その寺も戦火で焼けてしまい、17世紀に再建されました。

境内には荒尾氏の墓塔と伝わる宝篋印塔4基(市指定工芸品)があります。庭園内にある1基は、応永13年(1406)と刻まれ、知多半島で最古の宝篋印塔といわれています。3基は墓地にあり花崗岩製で室町時代中期のものともみられます。このほかにも、境内には多数の五輪塔・一石五輪塔や観音・青面金剛、地藏などの石仏や江戸時代の古い墓標が残っています。また、この地で郷土歌人として明治から昭和にかけて活発な活動をした小島新吉の墓碑もあります。

18~21は、裏面にあります。

22 細井平洲誕生地 荒尾町金山

享保13年(1728)に誕生した細井平洲の生家のあったところで、宝国寺の脇にあります。

23 宝国寺 荒尾町金山

天正年間(16世紀)に創建されたお寺で、長益上人の徳をしたって、祈願のために訪れる人は、近郊はもとより岐阜県方面にも及んでいます。

24 西方寺 荒尾町西ノ木戸

郷土の生んだ偉人で江戸時代の儒学者細井平洲家の菩提寺で、平洲の先祖と両親と兄弟姉妹のお墓があります。細井平洲自身は江戸で亡くなりましたので、お墓は東京浅草の天獄院にあります。



25 長益塚 荒尾町中屋敷

半田街道の荒尾交差点を西に入った左手に、長益上人を供養する塚があります。

長益上人は戦国時代の宝国寺の和尚でした。戦乱に明け暮れる時代で、人々はたいへん苦しい生活をしていました。そこで、近郷の人々が集まってお上に訴え出ることになりました。そして、訴状を長益上人に頼んで書いてもらいました。ところが、このことが時の支配者に知られてしまいました。そして、処罰を受けることになりましたが、長益上人はそのおとがめを一身に背負って処刑されました。そのとき上人は、「こうした無実の罪によって処刑されるが、それゆえ、死んでも人々の願いを聞き届けるぞ」と、いわれました。その後、慶安2年(1649)に荒尾七ヶ村の人々によって長益塚が建てられました。現代になってもお願いごとで訪ねる人が絶えません。

26 東海市立平洲小学校 荒尾町片坂

郷土の偉人細井平洲の名前をつけた学校で、校庭に本を小脇に抱えた細井平洲の立像が建てられています。

27 清水寺 荒尾町西川

昔の清水村の中にあります。村の名はこんこんときれいな清水のわく井戸があり、しばしば宮中に献じられていたことからついたといわれています。

本堂の厨子内に安置された聖観音立像(市指定彫刻)は、鎌倉時代の作で、寺伝では慈覚大師(円仁)の作といわれています。

28 正音寺 荒尾町東川

本尊の聖観音立像(市指定彫刻)は、鎌倉時代の作で、鎌倉時代の初期に運慶とならんで活躍した仏師(彫刻家)の快慶が作ったものと伝えられています。